

路地百選推薦書

推薦者氏名：田辺陽子

推薦する路地（のまち）の名称	西荻窪駅前の路地（通称：酔っぱらい通り）
所在地	東京都杉並区西荻窪

【推薦する理由（路地のよいところ）】

JR 中央線西荻窪駅の高架沿いの路地。幅 2～3mの道に飲食店が軒を連ねている。夕方 5 時頃から路上にもビールケースの椅子とテーブルが並び、外でも飲み食いしている。

昼間はひっそりとした路地だが、夕方の明りとともに活気が出てきて、何とも言えない楽しい・にぎやかな空間、お祭りの縁日のような雰囲気になる。「やきとり戎」が有名。ここの店員は元気なお兄さんが多く、この場の活気を生み出している。



路地の まちの 概要	面積	約 h a	路地の延長	約 50m
まちの成り立ち、特色等				
			大正 11(1922)年、西荻窪駅が開業。中央線（甲武鉄道）が杉並地域の各所に停車。大正 12 年、関東大震災が都心部を壊滅させたため、中央線の便を頼って多数の市民が杉並・井荻などに移り住み、村落の人口が急増。 その後、昭和 44（1969）年、鉄道高架化。駅周辺は道が狭く、駅前広場も十分とはいえない広さ。しかし、その狭小ぶりが西荻窪の独特な街の空気を醸成している。駅南口には、『酔っぱらい通り』や、その一本南側の『柳小路』などがある。	
			参考杉並区すぎなみ学倶楽部 http://www.suginamigaku.org/sanpo/map_k.html	

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。